

◎仙台市立仙台高等学校が取り組んでいることや目指すもの

取組方針: (「仙台市教育構想 2021」より)

生徒の学力向上と進学目標の達成に向け、学年に応じた進学重視型単位制のカリキュラム充実を図り、少人数による普通科教育を展開します。

校是 (教育理念): 自主自立

学校教育目標: 「より良い未来社会の構築を牽引する人間を育成する」



- (1) 地球規模の視野と社会の一員としての自覚を持ち、的確な判断力と課題を解決する能力を備えた自立できる人間を育成する。
- (2) 一人ひとりの才能や能力を伸ばすとともに、自他を尊重し社会に貢献できる自主的で実行力のある人間を育成する。

重点目標:

- (1) 心身の健康と安心安全な環境の整備

未来を創造する青年を育成するため、心身ともに健康で、安心して学校生活を送れるよう、個々の生徒に応じた支援を行い、自己肯定感を育む環境を実現する。また、安全を第一にした施設管理・整備を進める。

- (2) 主体的に学ぶ学習活動の推進

少人数授業の利点を活かし、「主体的・対話的で深い学び」の観点から、授業改善を全ての教科で進め、他者と協働しながら課題解決をする力、社会的変化が早く複雑多様で予測困難な未来を乗り越え、豊かな人生を切り拓く力を育む。

- (3) 生徒諸活動の支援

特別活動や部活動、仙台高校版キャリア教育(フェニックス・プラン)等を通し、集団の合意形成や意思決定を経験することで、自他を尊重し人間関係構築の力を育む。

- (4) 好循環を生む教育環境の創造

本校の特色を活かした教育課程の編成・実施を通して、本校のあるべき教育活動を検証するとともに、絶えず評価と改善をくり返し行う「カリキュラム・マネジメント」に全職員が関わることで諸活動が有機的に結びつくよう改善を進める。

1 グラデュエーション・ポリシー (卒業までに生徒にこのような力を養います。)

地球規模で物事を考える視点と、地域・社会の担い手として自己のあり方を考える視点を併せ持ち、本校の教育活動で培った資質・能力をもとに、進んで他者と協働しながら、より良い未来社会の構築に貢献する人物の輩出を目指す。

〈仙高力〉～育てたい7つの力 (資質・能力)

- | | | |
|-----------|-----------|------------|
| ①幅広く学ぶ力 | ②情報を処理する力 | ③探究する力 |
| ④表現する力 | ⑤他者と協働する力 | ⑥自ら考え行動する力 |
| ⑦自他を尊重する力 | | |

2 カリキュラム・ポリシー（このような学びを行います。）

グラデュエーション・ポリシーの〈仙高力〉を育む手立てとなる学びの特長

- (1) 35人学級で個に応じた指導を行います。
- (2) 「進学重視型単位制」のメリットを活かし、多様な選択科目の中から、目指す進路や興味関心に応じて、自ら学びをデザインする力を育成します。
- (3) ICT機器等を効果的に使用し、「主体的・対話的で深い学び」を重視した授業を行います。また、生徒の学習状況の把握と、質の高い授業を提供するため、授業評価を積極的に活用します。
- (4) 全教員による個別の進路指導を行い、4年制大学等の入学試験に対応する力の育成はもちろん、進学後を含め、生涯学び続ける土台となる力を育成します。
- (5) 「総合的な探究の時間」では、独自のキャリアプランである「フェニックス・プラン」において、SDGs（持続可能な開発目標）の目標に基づいたテーマを設けて探究します。また、外部機関における研修を通して視野を広げることで、より良い社会の担い手として何ができるかを具体的かつ積極的に考える力を育成します。
- (6) 生徒による自主的な生徒会活動や学校行事等の企画・運営・実施により、課題解決能力や他者と協働して成し遂げる力を育成します。
- (7) 活動盛んな部活動（運動部 17・文化部 16）により、礼儀や節度を重んじる心、スポーツや文化を生涯にわたって楽しむ力などを育成します。
- (8) 校内外におけるボランティア活動を推奨し、他者への温かい眼差しや、自身の力を広く社会に還元する力を育成します。
- (9) 海外の高校（オーストラリア：ケリービルハイスクール等）や在仙の外国人の方々との交流を通して国際的な視野を養うとともに、多文化共生の精神を育成します。
- (10) 近隣の大学はもちろん、2年次のHR研修旅行先の大学や関係する外部機関等とも連携しながら学びの場を創出し、生徒の知的好奇心や進路意識を高める機会を提供します。

3 アドミッション・ポリシー（このような生徒を求めています。）

未来を見据えて、感受性あふれる高校生の時期になすべきことを誠実に実行する生徒

- (1) 自他を尊重した責任ある言動をとる生徒
- (2) 自己の特長・特性への理解を深めながら進路を設定し、4年制大学進学等の進路目標に向かって挑戦する生徒
- (3) 積極的な授業参加を通して学習成果の伸長を強く心がける生徒
- (4) 部活動などの自主的な諸活動に意欲的に取り組むことを通して、心身の成長を強く心がける生徒